

四国水族館

うたづ臨海公園にある四国水族館は、四国近海に生息する約 400 種の海洋生物を展示しています。瀬戸内海と太平洋の深海に棲む生物たちをパノラマビューで見ることができる大きな水槽があり、四万十川や仁淀川などの四国を流れる河川についての詳しい展示も行っています。床から天井まであるメインの水槽では、マアジと暖かい黒潮（日本海流）に乗って移動する約 20 種類の魚たちを展示しています。黒潮は日本の太平洋岸を北上し、この沿岸の気候が温暖なのは主に黒潮のためです。近くのサメ水槽にはアカシュモクザメが泳いでおり、その姿を下から見上げることができます。このほか、四国の東側に位置する鳴門海峡の有名な渦潮の真下の海中の様子を再現した渦潮水槽や、水族館のサンセットデッキから見るとまるでその向こうの瀬戸内海と一体となったように見えるイルカのプールもあります。このプールの眺めは、沈みゆく夕日をバックにジャンプするイルカたちがドラマチックな光景を作り出す、夕暮れ時が特に印象的です。